

授業科目 精神保健福祉論

【担当教員名】 近藤 あゆみ	対象学年	3	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
	開講時期	通年	必修選択	選択
	単位数	6	時間数	90
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○
【概要・一般目標：GI0】 この講義では、はじめに障害者福祉に共通して理解しておくべき理念および施策、実践的課題について学び、次にそれを土台として精神障害者への支援の諸課題や関連法規への理解を深める。 特に、近年の精神保健福祉施策の変化については詳細にわたり修得する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 障害者福祉の理念と意義について説明する。 2. 障害および精神障害の概念について説明する。 3. 精神保健福祉の歴史と理念について説明する。 4. 障害者福祉の基本施策について説明する。 5. 障害者自立支援法と障害者サービスについて説明するとともに、新たな障害福祉サービスの課題について述べる。 6. 現代社会と精神障害者について説明する。 7. 精神障害者の人権について説明するとともに、人権を守るための精神保健福祉士の役割・課題について考察する。 8. 精神保健福祉士の理念と意義について説明する。 9. 精神障害者に対する相談援助活動の目的、内容、特徴について説明するとともに、障害特性を理解した上で主体性を重んじる相談援助活動の在り方について討議する。 10. 精神保健福祉法、精神保健福祉士法について説明する。 11. 精神保健福祉施策の概要について説明するとともに、今後の施策課題について述べる。 12. 精神保健福祉の関連施策について説明する。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-2	障害者福祉の理念と意義		1	講義
3-4	障害および精神障害の概念		2	講義
5-6	精神保健福祉の歴史と理念		3	講義
7-10	障害者福祉の基本施策		4	講義
11-14	障害者自立支援法と障害者サービス		5	講義
15-19	現代社会と精神障害者		6	講義
20-22	精神障害者の人権		7	講義
23-26	精神保健福祉士の理念と意義		8	講義
27-32	精神障害者に対する相談援助活動		9	講義およびディスカッション
33-35	精神保健福祉法、精神保健福祉士法		10	講義
36-39	精神保健福祉施策の概要		11	講義
40-45	精神保健福祉の関連施策		12	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	開始時に受講者と協議して決める。			
参考書	適宜紹介する。			
その他の資料				
【評価方法】 出席状況、授業態度、レポート課題、小テスト、 期末試験の成績により行う。	【履修上の留意点】 原則として「精神保健学」「精神医学」を履修済みの者に限定する。			